

「つなげ未来へ！」

ともに学び 高め合う 生徒の育成

七中だより



令和4年7月22日

負ける練習

校長 加賀 重仁

相田みつをさんの詩に、次のような一節があります。

柔道の基本は受け身
受け身とは投げ飛ばされる練習
人の前で叩きつけられる練習
人の前でころぶ練習 人の前で負ける練習です。
つまり、人の前で失敗をしたり、恥をさらす練習です
自分のカッコの悪さを多く人の前でぶざまにさらけ出す練習
それが受け身です。

(中略)

「長い人生にはカッコよく勝つことよりも
ぶざまに負けたり だらしなく恥をさらすことのうが
はるかに多いからです。」(後略)

急激な社会の変化の中で、学校は、子供たちが「主体的に取り組むこと」ができるよう教育することが求められています。しかし、ココが一番難しいかもしれません。自分の頭で考えること、自分の感受性を働かせること、たとえば、世の中のきまりはなぜあるのか、校則はなぜあるのか。受け身ではなく自分の感性をフル回転させ、世の中をしっかりと見つめなければ答えは出てこないかもしれません。しかし、中学時代はそうしたことが必要な時です。もしかしたら世の中には理不尽に感じることもたくさんあるかもしれません。でも「考えること」は間違いなく必要です。

多様なものの見方や考え方ができるようになるためには、成功経験とともに失敗経験も必要です。それが弱者の心に優しく触れることのできる心理を育み、転んでもすぐ立ち上がる勇気を育みます。

学校は社会に飛び出す準備をする場所です。正しい知識を学ぶとともに、そうした自分の生き方を手探りで探し続ける時期でもあります

(前略)

「そうして、負け方や受け身のほんとうに身についた人間が世の中の悲しみや苦しみに耐えて他人の胸の痛みを心の底から理解できる やさしい暖かい人間になれるんです。」

(後略)

紙面の関係上一部のみ紹介しましたが、ぜひ全文を読んでみてください。私も新たな決意の参考にしたいと考えています。

2年生浴衣着付け教室から

13日に2年生を対象に家庭科の授業の一環として「浴衣着付け教室」を行いました。『和装専門教室セキグチ』の方々からご指導をいただきました。日頃、めったに着る機会が少なくなったものの袖を通し帯をしめると女子はきれいに、男子はかっこよく「浴衣」を着ることができ、日本古来の伝統文化に親しみました。着物のルーツは弥生時代とも言われ、歴史があり素朴だけれども、機能性やデザインなど優れているから変わらないのですね。日本で生活する私たちだからこそ、今一度昔からある物を見直したいですね。



帯の締め方に一苦労

8月の主な行事予定



- 3日(水) 中体連全道大会(卓球・新体操)
- 6日~9日 三嶋神社祭典PTA夜間巡視活動
- 11日(木) 山の日
- 12日(金) 学校閉庁日
- 13日(土)
- 14日(日)
- 15日(月) 学校閉庁日
- 16日(火) 学校閉庁日
- 17日(水) 夏休み学習会①
- 18日(木) 夏休み学習会①
- 19日(金) 夏休み学習会①
- 22日(月) 2学期始業式
- 24日(水) 学年集会
- 26日(金) A L T 来校
- 29日(月) 教育実習生(数・英)着任
- 30日(火) 3年生見学旅行結団式・町P連理事会
- 31日(水) 3年生見学旅行出発(東北方面)

新型コロナウイルス第7波の真ただ中。感染予防には十分注意してください。

町内の公園をキレイに！ボランティア活動から

9日(金)に、七飯中学校のピア・サポート委員会が中心となって、1回目のボランティア活動が実施されました。総勢約54名ほどの生徒が「見晴公園」と「寿公園」までの通学路、そして公園内のゴミ拾いを中心に作業を行いました。1時間ほどの作業時間でしたが、ゴミ袋はペットボトルや空き缶、タバコの吸い殻・お菓子の袋などでいっぱいになりました。参加した生徒からは、「もっと時間があれば…」「時間が足りなかった。」という声もありました。七飯町がもっときれいになればという思いとともに、自分たちも日ごろからゴミを少なくする工夫をしななければと感じているようでした。



「二者懇談」へのご協力ありがとうございました

七飯中学校では、19日まで二者懇談が行われておりました。今年度、保護者の皆様と担任が直接お話しすることのできる初めての機会となりました。懇談では、ご家庭での様子や学校での様子について触れることができました。限られた時間ではありましたが、ご家庭との連携を深めるための貴重な場面ととらえ色々なお話ができ、大変有意義な時間となりました。保護者の皆様には、ご多用の中、また新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中、ご協力いただきありがとうございました。今後とも教職員一同、保護者の皆様とともに、お子様の成長のために取り組んでまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



「手軽さと危険は隣り合わせ！」自転車運転気を付けて

今月に入り、自転車の乗り方について地域の方から苦情が寄せられています。内容としては、『スピードを出した自転車が道路に飛び出して来てひきそうになった。』『道路に2列3列になって危ない。』『二人乗り』等心配して下さる声が多いです。急遽学校では、夏休みを前に全校集会を開きました。自転車通学をしている生徒は一部ですが、これからの夏休み、家で自転車を使う機会も増えるはず。手軽な乗り物だからこそ心の油断も隣り合わせです。全国的にも、自転車の交通事故が最も多いのは中・高校生とのこと。自転車通学時や友達の家に遊びに行く際などに、慣れによる注意不足や自己中心的な運転によって事故を招くケースが多いそうです。日頃から安全な運転を心がけなければなりません。また、事故の際、被害者になることもあれば加害者になることもあり、相手に大ケガをさせて高額な賠償金を請求されるといったケースもあります。どうぞ普段からご家族で交通安全について話す機会を持ち、交通安全に対する意識を高めさせてください。



命最優先！

